



むらさき会だより

No.11

平成19年9月1日

山村学園むらさき会

校歌

一、富士の高嶺の白妙を
雲のあなたに仰ぎつゝ、
学びの道を踏みわけて
やがて極めんいただきを
名は山村よ我等の学舎

二、清き流れの大利根や
行く手は遠く広くとも
教えの海に漕ぎ出でて
底の真珠を探りなん
名は山村よ我等の学舎

三、初雁おとのお武蔵野に
紫におう藤の花
理想を高くかざしつゝ、
いざや進まん諸共に
名は山村よ我等の学舎

ご挨拶



山村学園むらさき会
会長 田中久子

むらさき会員の皆様、ご機嫌いかがですか。今年も新しい会員をお迎えし、五月十二日、総会並びに懇親会を開催いたしました。会員皆様の再会は、華やいた雰囲気でした。

まず総会では、今年度の主な事業計画として学校行事への参加、むらさき会、そして母校の今を伝える、「むらさき会だより」の発行等です。続いて、幅広い世代との交流では、会員同士の親睦が深められ、共通の話題に

時のたつのも忘れさせてくれました。終りに、校歌を全員で歌い終った時には、在学当時が思い出されました。会員の皆さん、年に一度の集いに参加してみませんか。自分をみつめ、得るものがあるのです。

母校の山村学園も、長い伝統の女子教育から、未来に向けて時代に合った山村学園となりました。むらさき会員も男子会員がいらっしやいます。

学園と共にむらさき会も、一歩進んだ運営に日々努力を積み重ねて参ります。そして皆様と共に母校との交流が深められることを願ひ、そして会員であることを再認識していただければ、大変うれしく思います。

現在の山村学園について



山村学園 理事長
山村 寛先生

むらさき会の皆さん今日は。お元気のことと推察いたします。ご承知のことと思いますが、山村学園は三つの学校を経営しております。

坂戸市にある山村国際高等学校は、今年で五十七年目になり、川越市にある山村女子高等学校は四十九年目になります。両校とも普通科で、二期制。コース制を実施しております。

また、鳩山町にある、山村学園短期大学は、開校より十九年目を迎えました。いずれも、女子教育一筋にきました。平成十一年に山村国際高等学校の特進コースを男女共学にした関係で、現在の校名に変わりました。更に平成十八年には、ファッションデザインコースを除く全コースを共学にいたしました。

また近年、大学への進学希望者が増えたため、学力向上・受験対策を目的として、放課後・土曜日を使って特別授業を行っております。

一方、部活動も盛んになり、特にバトントワリング部は全国

高等学校文化連盟主催の全国大会に九年連続出場し、金賞を連続六回受賞いたしました。島根大会に埼玉県代表として今年も参加いたします。

山村女子高等学校も、大学進学希望者が増加したため、土曜日の特別講座や放課後のゼミには、予備校の先生を講師として招いて、受験科目の実力向上の指導をしています。

また、近年部活動も盛んになり、佐賀県で行われます平成十九年度全国高校総合体育大会には、バスケット部とテニス部の一名が埼玉県代表として出場いたします。

そのほかに、バトン部・ダンス部が全国大会に出場いたします。なお、平成二十年度からの共学に向かって、校名も山村学園高等学校とし、教育活動の範囲を拡げて、より一層魅力ある学校を創りあげていくための準備を進めています。

山村学園短期大学は、平成十四年度より、男女共学にすると共に、保育学科を新設し、現在の校名に変更いたしました。

保育学科は、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格が取得でき、男子学生も学んでいます。「体験授業」と「少人数教育」で心身ともにたくましい骨太保育者を目指して教育を行っております。

なお、コミュニケーション学科の学生でも、保育学科の単位を修得すれば、幼稚園教諭二種免許状の取得ができます。

第35回むらさき会総会を終えて

※第36回は、平成20年10月を予定しています。

昭和五十四年度卒業生

横山 芳江

毎年五月に開催される「むらさき会総会」におかれましては、田中会長様を始め、役員の皆様方に心から厚く御礼申し上げます。しかしここ数年は、出席者が少なく一年置きにしようか：という声も上がってきているとの事、でも私は他の学校の卒業生から「山村学園は毎年同窓会があつていいわね、うらやましいわ。」と言われて

います。今年の懇親会では、とても素敵なマジシャンの相方に指名され、ペアでやる手品「ブラックマジック」というのを手伝いました。ぶっつけ本番でしたので私の方がドキドキしましたが、手品って不思議ですね、観客の皆さんの心一つに集中させて行くテレビ番組のようなものを感じられました。最後



は種あかしもあり、お蔭様でとても楽しい一時を過ごす事ができました。終わりに、平成二十年度より共学になる山村学園の益々のご発展と、今後も学園を支える「むらさき会」のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

昭和三十九年度卒業生

島田 みち子

むらさき会の総会に、妹と共に出席させて頂き、ありがとうございました。先輩の卒業生の方も多く、落ち着いた雰囲気の中にも、気品ある総会だったと思います。今にも、ぬみよ先生が声をかけて下さるような気がして、会場を見渡した程でした。

来年は、総会が春から秋になるようですので、今度は娘と一緒に参加させて頂きたいと思い、今から楽しみにしています。

会員だより

女学校の思いで

昭和三十四年度卒業生

栗原 順子

私は山村学園を卒業しまして三十年がすぎました。

そしていつも学生の時の事を思い出します。入学式の時は母と行きました。母も

マジックショーを終えて

出演者 平井 敦嗣

今回手品の発表をさせて頂きまして、有難うございました。私は非常に緊張していたのですが、皆様お楽しみ頂けましたでしょうか？ 特に皆様に覚えていただきたかった「ブラックマジック」ですが、既に忘れてしまったという場合は、インターネット上にも記載されているので、是非覚えて、使ってみて下さい。

(<http://www.interq.or.jp/boy/kodaruna/asoh/asoh2.htm>)

素敵なマジシャンを演じて頂けたら、

これ以上の喜びはありません。よろしくお願ひいたします。



同じ学校を卒業しました。一年生の時には故小泉先生でした。和裁の時間は楽しみです。着物が出来るのが楽しく思いました。時にははめられたように思います。

二年生の時には、私達の教室は玄関の脇のミシン室で勉強でした。教室がいっぱいでしたのでしょうか。洋裁は男物のズボン、女性の物はスカートでした。

料理・華道いろいろ習得しました。又、私は自転車通学でした。駐輪場もあまり広くなかったので、出したり入

文化祭・学園祭のご案内

山村女子高等学校

ふじどの祭

9月8日 (土)

10:00~

9月9日 (日)

9:00~

山村国際高等学校

紫藤祭

9月22日 (土)

10:30~

9月23日 (日)

9:00~

山村学園短期大学

山緑祭

11月10日 (土)

10:00~

11月11日 (日)

10:00~



現在のパソコンに勝てず消えてしまいましたが、当時の友は今もむらさき会でお会いし、お付き合ひさせて頂いております。

むらさき会の存在を知らなかった時は、高校のクラス会が話が無く、人数が多い為幹事が大変なのでやらないのかと思っ

れたらと思いでひとつです。きびしい躰の中でも先生方のきめ細かい指導をいただき、最高の学校を卒業致しました。私は山村学園で学んで社会に出て困る事のない様な教育をしていただいたおかげと感謝しております。学園のますますの発展を心より祈って居ります。

友と語らうむらさき会

昭和四十四年度卒業生
中里 正枝

山村女子高等学校を卒業して三十五年の月日経ちました。

在学当時の私は商業科であり、就職に役立つクラブに入部しようと思ひ、友達と相談し「和文タイプ」部に入部しました。顧問の先生は、寛先生と井上先生です。

授業が終わると部室に行き、練習は一時間くらいで、後は皆でおしゃべりばかりしていたような気がします。役に立つと思っていた和文タイプは、

山村学園に学んだ母と私

昭和三十二年卒業生
塩野しま子

歳月の流れと共に五十余年、うすれゆく記憶も思ひおこせばなつかしさもひとしおでございます。

花壇には四季折々の花が咲き、緑の木立に囲まれた我が母校、山村女子高等学校、昭和三十二年の卒業です。

勉学に、裁縫にスポーツにと、汗を流した日々、思ひ出はかぎりなく「心を磨き、校舎を磨き、校風の樹立に日夜懸命に努力」を学園のあゆみに記してありました。熱意ある諸先生方の指導のもとに、知識や技術を学び、身につけることが出来たことは、今なお感謝の気持ちで一杯でございます。

学園のながい歴史の中で、私の亡き母も昭和の初めに山村裁縫女学校でお世話になりました。勝呂村(坂戸市)から小仙波まで十キロ余りの道程を、雨の日も風の日も自転車で通われたそうです。

私が在学当時、丁度姉が嫁入前でしたので、仕立物が沢山あり、母と一緒に夜遅くまで裁縫し、教材にはない紋付羽織や訪問着まで、放課後先生に教えて頂いたこともありました。「聞くは一時、直すも一時」末代の恥ならぬ様にと言ひ聞かされて、今も大切な言葉のひとつです。

私が卒業の翌々年には妹も同校に入学し、お世話になりました。誠に縁の深い学園でございます。

今年で結婚四十七年、おかげさまで健康にも恵まれ、十数年前に定年を迎えました主人と、日々の出逢いを大切に暮らしております。

時代と共に躍進されてゆく学園の慶びと、むらさき会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

感謝

昭和三十九年度卒業生
野島康子

母校を巣立って四十年以上が過ぎました。四十年間の同じ仕事に別れを告げ、この春に定年退職をしました。振り返ってみると、心も体もいろいろなことに耐えてくれて「ありがとう」の感謝の一言です。私をいつも応援してくれた家族があり、戦後の苦しい家計をやりくりして私に一枚の免許状を取

得させてくれた亡き父や母のおかげだと感謝しています。今、第二の仕事についていますが、今までのように責任がないので、のんびりやっています。高校卒業の時、銀行や会社に就職していく同級生をうらやましく思いました。

た。私は幼児教育の道を選びましたので、実習に講義にアルバイトに毎日が忙しさを連続で必死に学んだのを思い出します。最初に就職したが、しつ

けに厳しい私立の幼稚園でしたが、高校時代を思い出しながら、厳しさに耐えて五歳児を担任しました。その中の一人の子どもの結婚式に出席させて頂いたのが良き思い出です。いまでは、もう立派なお母さんになっていきます。

その後、四年勤務の後、公立幼稚園に就職し、幼児教育の研究に情熱を燃やした。特に子どもを取り巻く物的環境の在り方や遊びとのかかわりを、時間が経つのも忘れて研究した日々は、今となっては楽しい思い出になってしまいました。

趣味である写真を活かして、子どもたちのかわいい笑顔カメラに：と撮り続けた写真がたくさんになりましたので、ちょうど幼稚園が廃園になること、私の定年退職のこともあり、「夢」そして明日へ(非売品)という写真集を自主出版しました。

子どもたちに「夢」を忘れないで明日に向かって生きていってほしいとの願いが込められています。私の仕事の四十年の答えは ことばは たて糸 おとなは よこ糸 きらきら輝く織物を織り上げることは 私の大切な仕事でした。

感謝

夢

共学宣言

—新しい教育へのチャレンジ—



山村女子高等学校
校長 牧野彰吾先生

本学園創立以来、八十有余年が経過し、山村学園で動かれた皆さま方が各分野で活躍されておりますことは、ご同慶の至りです。私は、この四月一日付けで、下田宏吉校長の後任として山村女子高校に赴任いたしました。ご厚誼のほどよろしくお願い申し上げます。山村女子高校では、今、大きな出来事が始まるうとしております。本校はこれまで五十年近くにわたり、地域に信頼され、女子教育の要所として発展してまいりましたが、来年度から共学に移行することとなりました。山村学園短期大学、山村国際高校に続き、男子生徒を受け入れることとなります。共学化を契機として校名も「山村学園高等学校」と改称し、新しい教育システムを構築してまいります。もちろん在校生の心情も十分に配慮して共学に対処いたします。

今年度はその過渡期として捉え、今まで培ってきた教育活動の成果を礎として新しい取り組みの準備を始めました。こうしたことから今年度は、最終年度の女子高校として有終の美を飾ることにあります。今年度の入学者は二一〇人。二年生二五二人、三年生三六四人と合わせ、女子だけの者は九一〇

人の規模となります。

今年度は学校経営方針として、「二、時代の変化に積極的に対応し、国際社会の中で「常識」をもって活躍できる人材の育成」、「二、「確かな手応え」が感じられるきめ細かな指導」、「三、「やはり山村にきてよかった」と実感させる教育活動の実践」を柱として掲げております。これらの方針に沿って生徒たちの健やかな成長を願い、教職員一同、日夜努力を続けております。

おかげさまで、この三月における進路状況は、下図に示すように、お茶の水大・埼玉大・埼玉県立大を筆頭に現役進学率九七%を確保し、生徒・保護者からの信頼に応えられる成果を挙げることができました。部活動においても、バスケ・テニス・バトン・ダンスを先頭に、インターハイ・関東大会・国際大会等で優秀な成績を出すことができました。

生徒はみな元気です。はつらつと山村の青春を謳歌しております。学業に、部活動に全身をぶつけ、山村OGの卵たちはすくすくと、今まさに成長の真只中にあります。

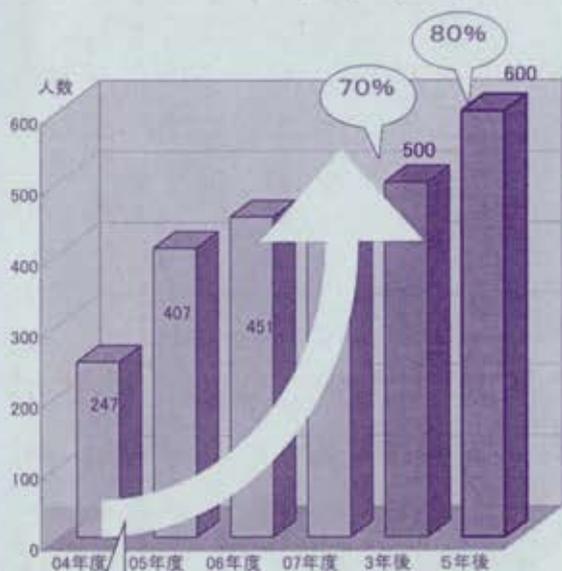
同窓の皆様方には、どうぞこれからも末長く本校へのご理解・ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



進学実績

◎今年の大学進学率 → 60%

◎現役合格率 96.6%



ワンランク上の進路保障、
大学合格の学力はもちろん

〈国公立大学〉

大学名	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
一橋大学	1			
お茶の水大学	1			1
電気通信大学		1	1	
東京外国語大学			1	
東京学芸大学		1		
埼玉大学		2		1
埼玉県立大学	1		1	1
都留文科大学				
京都府立大学	1			
高崎経済大学			1	
合計	4	4	4	3

〈難関大学〉 早慶上智理科・MARCH

大学名	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
青山学院大学	1	2	5	2
慶応義塾大学	2	3		1
上智大学	2		1	1
中央大学	2	15	6	3
法政大学	4	6	8	9
明治大学	3	1	6	4
立教大学	3	6	9	16
早稲田大学	1	3	2	1
立命館大学	1			
東京理科大学			2	2
合計	19	36	39	39

〈主な私立・女子大〉

大学名	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
津田塾大学	1		1	
学習院大学		1	2	3
日本大学	9	19	17	10
成城大学	2	6	1	4
成蹊大学		7	2	4
東洋大学	23	17	32	36
駒沢大学	3	14	9	12
専修大学	1	7	3	4
東京女子大学	4	8	8	9
日本女子大学	4	15	6	5
大東文化大学	13	23	19	39
女子栄養大学	1	7	5	7
東京国際大学	6	26	15	16
その他	155	210	278	245
合計	222	360	398	394

〈薬科・獣医・看護系大〉

大学名	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
共立薬科大学		1		
日本薬科大学	1	1	1	
帝京大学	1		2	2
麻布大学		1		
北里大学		2	1	
城西大学		1	2	
東京女子医科大学		1		
埼玉医科大学			1	1
昭和薬科大学			1	
日本大学			1	
武蔵野大学			1	1
日本獣医生命科学大学				1
合計	2	7	10	5

近況報告



山村国際高等学校
校長 舩津和信 先生

むらさき会会員の皆様には、日頃から本校教育の充実発展のため、温かい御支援を頂いておりますことに、心から御礼申し上げます。また平成十九年度から新たに百八十名の卒業生が、むらさき会に仲間入りさせて頂きました。宜しくお願い致します。

初めに、会員の皆様も御案内のように、本校では、昨年度から、全コースを男女共学として生徒募集を行いました。その結果、平成十八年度は七十三名、今年度は六十三名の男子生徒が入学してまいりました。今年度の入学生は二百三十一名で、昨年度に比べて二十名少なくなりましたが、在籍生徒数では、四十三名増え現在、六百五十七名の生徒が勉学に部活動等に熱心に取り組んでいます。部活動では、バントワリング部・吹奏楽団・福祉部・剣道部などが素晴らしい成績を収めております。また、昨年度創部したサッカー部も少しずつ成績を上げ、将来が楽しみです。

次は平成十八年度卒業生の進路状況についてです。今年度も生徒の皆さんの頑張りにより、昨年以上の成果を収めることができました。特に大学進学では、国立大学には埼玉大学へ、私立大学では学習院大学・國學院大学・埼玉医科大学・成蹊大学・専修大学・東洋大学・獨協大学・日本大学・武蔵大学・早稲田大学等いわゆる有名大学に現役合格の実績を残してくれました。このことは、後に続く後輩たちに大きな希望と勇気を与えてくれることとなります。引き続き、進路指導や教科指導の充実に努めて参りたいと存じます。

第三は、例年力を入れていた指導である「礼儀正しく、制服を正しく着る」等の「しつけ教育」であります。確かな学力を身に付けるには品性溢れる若人の育成が基本となります。本校の長い歴史の中で「しつけ教育」に全校を挙げて取り組んでいる所以は、そこにあるのです。

これからも引き続き一人ひとりの生徒を大切にしながら、明るく楽しい学校づくりを推進し、生徒の皆さんからは「山村国際高等学校に入学して良かった」、「山村国際高等学校へ入学させて良かった」と言われる学校づくりに一生懸命取り組みますので、今後ともむらさき会会員の皆様の御支援を宜しくお願い申し上げます。



山村国際高等学校の進路指導

『進路指導は、本来どうあるべきか』

平成19年度は、上記テーマに沿って、以下の目標で進路指導を展開していきます。

目標1 生徒の適性を導き出し、最も適した進路を実現させる

本校生徒のおよそ半数は、短大や専門学校に進学しています。このことから、生徒一人ひとりに自己の適性をしっかり把握させ、生涯にわたって生かすことのできる知識や資格の取得できる最適な学校選びを指導しています。

目標2 偏差値55を超える学力を身につけさせる

特別進学コースが編成され、6回の卒業生が巣立っていきました。それまで、大学進学者はほんの一握りだった本校ですが、ここ数年は、毎年国公立大学や難関私大に複数合格できるまでになりました。

今年は、更なる飛躍を目指し、大幅なレベルアップを図っています。

- 1 特別進学コースは、原則全員が国公立大学を受験します。
- 2 特別進学コースは、私立大学は明治大学以上に合格させます。

1 主な合格大学と合格者数 表1

国公立大学	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
埼玉大学	2				1
信州大学			1		
都留文科大学		1			
富山大				1	

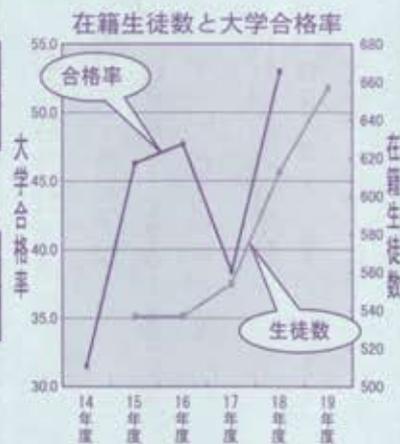
私立大学	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
学習院大学	1			1	1
学習院女子大学	1			1	
神田外国語大学	1	2	1		
北里大学		1			
國學院大学		1	3		2
国際基督教大学			1		
埼玉医科大学					2
駒澤大学		1	1		
上智大学			2		
成蹊大学	1		1		1
成城大学				1	1
専修大学				1	1
玉川大学		1		1	
中央大学			1		
津田塾大学			1		
東京女子大学				3	
東京理科大学		2	1		
東洋大学	5	4	3	6	9
日本大学	1	1	3	2	6
日本獣医畜産大学			1		
日本新生命科学大学			1		1
法政大学		1	1	1	
武蔵大学			1		4
明治学院大学				1	
立教大学	1				
早稲田大学			1		1
合格者数(大学数)	64(36)	79(47)	71(46)	74(35)	96(48)

2 大学合格率の変化 表2

年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
合格率(%)	31.5	46.3	47.7	38.4	53.0

3 在籍生徒数の変化(5月1日現在) 表3

年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
生徒数	537	537	554	613	657



短期大学創設の頃



山村学園短期大学
学長 山村 健先生

山村学園短期大学は、ほぼ三年間の準備期間を経て、平成元年にスタートしました。この準備期間を含めれば、本学はすでに二十年を超える歴史を刻んだこととなります。年をとったせいも、近頃この創設期のあれこれが、あらためて鮮やかによみがえってきます。いずれも大変きびしい経験ばかりでしたが、不思議なことに「つらい」という雰囲気はほとんど感じませんでした。ひとつの大きな目標に向かってわずかな数の選りすぐったスタッフが丸と丸と丸とにあたったためかと思いません。とりわけ今は亡き山村実子と、現在も事務局で本学を支えてくれている山崎昌子さん、大森由紀さんに負うところは、はかり知れません。

設置準備室 まず最初の問題は、事務作業の場所を川越校に置くとして、部屋がどこにも見つかりません。思いあぐねた末やっと見つけたのが食堂の「玄関」でした。一応ベニヤで仕切って、うなぎの寝床のような空間ができあがりました。

深夜に及んだ作業 三年間にわたる認可申請の作業には、細かなスケジュールが定められており、そのハードルをひとつひとつ着実に越えていかねばなりません。当局との度重なる折衝を

経て、定められた期限までに、所定の煩雑な書類をひとつひとつまとめ上げていくわけです。まさに、文部省への御百度参りでした。幸いにも私どもの担当官はよくできた方で、いつも変らぬ懇切な指導をいただくことができた。しかし、期限が決められた書類作成の作業は深夜に及ぶこともしばしばでした。途中で辞めていった別のペテランのスタッフはこんなハードな仕事とは思わなかったでしょう。深夜当人の家族から何度もクレームの電話がかかってきました。しかしながら、山崎さん、大森さんの若い二人は、一言の愚痴もこぼさず、黙々とひたすら仕事に打ちこんでくれたのが、今でも限りなくありがたい思い出になっています。加えてそれも、この二人の家族の温かな理解があつてのことと、あらためて深く感謝しております。

暑熱とのたたかい 私たちの仕事場でとくに大変だったのは夏です。にわか仕立の準備室はエアコンの余裕がなく、タオルを首に巻いて、したたる汗をぬぐいながらの仕事でした。提出書類にはスタッフの貴い汗が沁みこんでいるはずですよ。

手作りの書類 文部省には、私たちと同様の認可申請の大学関係者の姿がいつもありました。みな私たちと同じように分厚い書類を風呂敷に包んでもち歩いていました。ふと気がつくとも同じ書類でも、見かけが私たちのものとは全く違うことに気がつきました。私たちの書類は、用紙を二つに折って

袋綴じにし、それに黒い厚手の表紙をつけ、革の紐でとじたものでしたが、他の大学関係者が手にしていた書類は、ちょうど厚い国語大辞典のようで、専門のところで作らせたもので印字もクリア、書類の耳もきれいにカットされているではありませんか。彼我のちがいに私たちは思わず目を見張ったものです。でも、文部省の担当官は、このような書類の体裁には一言も触れませんでした。こうして私たちは、最終たくさんの手作りの書類で押し通しました。

山村学園短期大学創設の思い出の糸をたぐると切りがありません。記録にとどめたいことは沢山ありますが、紙幅の関係でここで筆を擱かねばなりません。またの機会にゆずりたいと思います。



玄関

中庭

編集後記

多くの皆様のご協力により「むらさき会だより第十一号」を発行することになりました。

「むらさき会だより」は、学園の発展の姿や会員のみなさまの近況等を載せさせていただいております。会報の名前は、校章の「藤」の色から、発行日は創立者の山村みよ先生の誕生日です。

この会報が、会員の皆様と母校を結ぶことができれば、こんなうれいしいことはありません。

ホームページを開設しました。山村女子高校のホームページからリンクしてください。

ご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

むらさき会 平成19年度役員一覧

- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 田中 久子 |
| 副会長 | 伊藤 勉子 |
| 顧問 | 野島 康子 |
| 顧問 | 福島ミヤ子 |
| 顧問 | 山村 寛 |
| 顧問 | 牧野 彰吾 |
| 事務局 | 松津 和信 |
| 事務局 | 小林 豊子 |

むらさき会連絡先

山村女子高等学校

☎049-225-3565

〒350-1113 川越市田町16-2

山村国際高等学校

☎049-281-0221

〒350-0214 坂戸市千代田1-2-23